

達成度：H28.3.31の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
 4 目標を概ね達成した。
 3 目標を一部達成した。
 2 目標をほとんど達成できなかった。
 1 目標をまったく達成できなかった。

学校教育課の目標（平成27年度）自己評価書

学校教育課長 猪鼻慎二

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 創意ある教育課程の推進</p> <p>(1) 各校の課題を明確にし、授業改善に取り組むことによって、学力向上に努めます。</p> <p>(2) 少人数指導により、個に応じたきめ細かな指導を推進します。</p> <p>(3) スクールボランティア等外部人材の活用を推進し、総合的な学習の充実を図ります。</p> <p>(4) スクールサポート指導員を配置し、特色ある教育活動を支援します。</p> <p>(5) 学校評議員を活用した学校評価の実施に取り組みます。</p> <p>(6) 小学校「私たちの道徳」の活用を図り、教科化に向けての準備を進めます。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p>	<p>・数値目標を決めて、短期・中期・長期にわたる具体策を実施し、学力の定着を図ってきました。</p> <p>・算数・数学において少人数学習を行い、習熟度に応じたきめ細かな指導を行うことができました。</p> <p>・読書活動や昔遊び等において地域人材の活用が図られました。</p> <p>・小中学校において教科指導、教育相談等の充実と活用が図られました。</p> <p>・学校行事、授業公開に学校評議員が積極的に参画し、学校運営の改善に助言等をいただき活用が図られました。</p> <p>・校内に道徳教育推進委員会を設置して研修等を実施し、教科化への意識が高まってきました。</p>
<p>2 教育相談・生徒指導の充実</p> <p>(1) 「心の教育推進会議」を開催し、各学校における生徒指導の一層の充実と学校間の連携を図ります。</p> <p>(2) 適応指導教室（ふれあいルーム）の児童生徒の支援を図ります。</p>	<p>4</p> <p>5</p>	<p>・生徒指導、スクールカウンセラー、適応指導相談員等と連携を図ることができました。前年度と比較して長欠率は微増となりました。</p> <p>・中学生が通級し、学習支援・生活支援を行いました。学校と密に連絡を取り、復帰への足がかりとなりました。</p>

<p>3 人権・同和教育の推進</p> <p>(1) 担当者会議を開催し、教職員研修や各学校の実践の充実を図ります。</p> <p>(2) 大室大小学校と酒々井小学校を推進校として指定し、教職員の指導力の向上に取り組みます。</p> <p>(3) 「小中学生人権作文集」や「酒々井町の人権・同和教育」を編集・刊行し、教職員、児童生徒、保護者の意識高揚に努めます。</p> <p>(4) ネットパトロールを実施し、インターネット掲示板等への誹謗中傷、書き込みを監視します。</p> <p>4 保小中連携推進事業の充実</p> <p>(1) 「研究・研修部」「生徒指導部」を中心に児童生徒に係る課題を協議し、その改善に努めます。</p> <p>(2) 「教科分科会」を中心に、小・中学校間の学習の継続性を推進します。</p> <p>(3) 「小中連携指導5項目」を保護者・地域にも周知し、基本的な生活習慣の定着を図ります。</p> <p>5 特別支援教育の充実</p> <p>(1) 就学指導委員会を年3回開催し、将来の社会自立を見据えた就学指導を進めます。</p> <p>(2) 小学校に介助員を配置し、個々の教育的ニーズに応じた支援を行います。</p> <p>6 読書指導・図書館教育の充実</p> <p>(1) 町内3校の学校図書館の図書整備率80%に向けて取り組んでいきます。</p>	<p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議において、各学校の進捗状況を確認し、計画に則した研修を行うことができました。 ・人権集会活動を進める中で、子どもたちはお互いの良さや違いについて気づき、相手を認める意識が高まりました。 ・人権作文集を活用した人権学習を行い、保護者にも啓発することができました。 ・ラインによる書き込みを監視することが困難であるため、児童生徒や保護者に対してルールやマナーについての指導や啓発がさらに必要です。 ・心の教育推進会議を定期的に開催し、情報交換することが、その後の課題解決に役立ちました。 ・小中の教員が共通理解・共通指導を図ることができました。 ・挨拶の習慣については、さらに積極的に推進するように検討します。 ・各委員の専門的な視点からの助言をもとに、児童生徒の実態に即した指導を行いました。 ・担任と連携を取りながら、有効な支援を行うことができました。 ・蔵書率は徐々に上がってきているので、さらに目標に向けて取り組むようにし、学校格差を是正します。
--	---	--

<p>(2) 町内3校に学校図書館アシスタントを配置し、図書館機能の充実と児童生徒の学習支援、公立図書館との連携を推進します。</p> <p>7 健康・安全教育の充実</p> <p>(1) スクールアドバイザーを中心に、防犯ボランティア等関係機関と連携しながら、通学路の点検や安全マップ、防災マニュアルについての指導・助言を行います。</p> <p>(2) 栄養教諭による食育授業や教室訪問などを行い、食育教育の充実に努めます。</p> <p>8 情報化・国際化に対応した学校教育の推進</p> <p>(1) 電子黒板やコンピュータなどのICT活用を推進し、教育的効果を高める工夫を講じます。</p> <p>(2) ALTを活用し、外国語学習・国際理解教育の推進に努めます。</p> <p>(3) 国際化に対応できる人材育成を図るため、中学校の生徒を海外に派遣し、ホームステイや体験活動を通して、「国際交流派遣事業」を実施します。</p> <p>9 キャリア教育の推進</p> <p>(1) 「キャリア教育推進協議会」を設置し、職場体験学習など学校教育への組織的な支援を行います。</p> <p>10 北海道陸別町児童交流事業</p> <p>(1) 生涯学習課と連携し、小学生6年児童の体験的活動、自然とのふれあい活動の推進を積極的に推進します。</p>	<p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の学校図書アシスタントと定期的に情報交換・協議を行うことにより、支援・連携ができました。 ・大室台小学校、酒々井小学校で登下校の安全を積極的に実施しました。点検後の指導・助言を今後も継続していきます。 ・栄養教諭や栄養士による食育についての授業や給食時の教室訪問を実施し、望ましい食生活について指導を行い、食育教育推進の充実に図ることができました。 ・ICT機器の活用については、教職員の情報スキルを高め、さらに積極的に活用していきます。 ・小中学校の英語活動、英語教育が充実してきました。 ・英語力の育成、コミュニケーション能力の向上、異文化理解の深化につながりました。 ・商工会や町内事業所の協力を得て、小中学校とも職場体験の充実に図ることができました。 ・自分たちの生活場所とは違う地域の自然環境や生活の中で友達とふれあうことから、郷土としての酒々井町を振り返る機会となりました。
---	--	---

<p>11 教職員の資質や指導力の向上</p> <p>(1) 小中学校の校内研修に指導主事を派遣し、教職員の指導力の向上を図ります。</p> <p>12 教育条件の整備</p> <p>(1) 「豊かな心を育むCTSプラン事業」や「教職員の特色ある教育活動支援事業」を通して、各学校の特色ある教育を支援します。</p> <p>(2) 町ふれあいタクシーを利用したスクールバスを運行し、酒々井小学校児童の交通手段を確保します。</p> <p>(3) 特別支援学級在籍対象の「特別支援教育就学奨励費」や準要保護家庭対象の「就学援助費」を支給し、保護者の経済的負担軽減を図ります。</p> <p>13 家庭との連携</p> <p>(1) 「家庭学習の手引き」を各家庭に配付し家庭教育の充実を図ります。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日的な課題をテーマに、教務主任や研究主任等を対象とした研修を計画的に行いました。 ・教職員の特色ある教育活動支援事業では、各校教職員の工夫ある研究が見られましたが、教師の負担が増えないように考慮する必要があります。 ・計画通り安全に運行しています。 ・申請者に対して町独自の手続きに基づき、適宜的確な状況把握に努め、処理することができました。 ・家庭学習の意識が高まってきています。
--	--	---

<p>14 チャレンジ目標</p> <p>(1) 千葉県の平成27年度学校教育指導の指針を踏まえ、学校教育課の施策に反映させることによって、学力の向上につなげます。</p> <p>(2) 不祥事根絶に向けて、小中教委連絡会議で具体的な事例を基に指導し、さらに教職員に周知徹底することによって意識を継続させます。高い倫理観を身に付けるために、若手教職員の研修に重点を置きながら不祥事の防止に努めます。</p> <p>(3) 保小中の連携を図り、英語活動及び英語教育の推進に努めます。中学生の積極的な英語検定に町教育委員会でも支援します。</p> <p>(4) 千葉県の人事評価制度（目標申告と業績評価）の実施に際し、適切な運用がなされるよう各校に指導します。</p> <p>(5) 教員免許更新について、受講漏れや申請不備がないよう各校に指導します。</p>	<p>4</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉県の指針を踏まえ、各学校の学力向上につなげることができました。今後は言語活動の充実に力を入れていきます。 ・酒々井町から教職員による不祥事が発生していない現状を今後も継続するように努めます。 <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTの有効活用等により、英語教育の推進が図られています。小学校中学年の教科化に向けての準備を検討します。 <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切に実施をしていますが、業務に反映させるためには、その必要性の意識を高める必要があります。 ・滞りなく更新講習の受講や更新事務を実施することができました。
--	--	---